

視聴覚いしかわ

発行／石川県視聴覚教育協議会
編集／石川県立生涯学習センター学習情報グループ
発行人／会長 村澤 勉

平成 26 年 3 月 28 日発行

金沢市石引 4 丁目 17-1 石川県本多の森庁舎 石川県立生涯学習センター内 TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585

学校教育における ICT 活用の実例

石川県教育センター 指導主事 真 館 英 誉



ICT (Information and Communication Technology : 情報通信技術) は、学校現場ではどのように使われているのであろうか。

学校現場で ICT を使う最大のねらいは、「学力の向上をめざす」ということである。

ある調査では、中学・高校の社会科の授業において、同じ内容を教える際に ICT を使ったクラスと使わなかったクラスでは、テストの平均点におよそ 10 点の差があったという。平均点で 10 点というのは、非常に大きな差である。つまり、ICT を使った方が、子どもたちの

理解が進むのではないかと、言うことが出来る。またテストの結果（「知識・理解」）だけでなく、授業の中身についても、「関心・意欲」や「思考・判断」の高まりという点に関して、ICT を使った方が伸びている、ということが統計を取ると現れてくる。

授業において ICT を活用するためのポイントはなにか。一つは「大きく提示」をすることにより「何を今、行おうとしているのか」を、児童生徒に解るようにすることである。「拡大」して提示し、「ここ」「このように」という風に具体的に場所や方法を簡潔に指示することで、「今、何を説明しているか」ということに焦点が当たる。この「焦点化」と、みんなで見ているという「共有化」が、ICT を使うときに大事なポイントになる。

なお、この拡大提示は、デジカメや実物投影機とプロジェクターをつないで投影するだけででき、パソコンなどは使用していない。デジタルデバインドの課題もあるが、簡単に「ICT を活用」する方法もある。

2 つ目は、普段見ることのできないものを ICT を使って見せることである。これにより、さらに新しい興味や疑問を引き出し、理解を深めていくことができる。3 つ目は、模範となるものを見て、それを実践し、その様子をカメラ等で撮影して第三者の視点で客観的に見せることである。他にもポイントはありますが「何のために ICT を使うのか、どの場面で、どのように使うのか」等を明確にして活用することが大切である。

さて、ICT の活用のねらい等を、金沢大学にも勤めておられた中川先生の言葉を借りてまとめると、次のようになる。

「知識・理解の補完・定着」… ICT の映像を見せたりすることで一層理解を深める

「イメージや意欲の拡充」… イメージの湧かない事象を、映像として見せることでイメージを広げる

「学び方の補完」… 例えば、どのように実験をすればよいのかななどの方法を示すことが出来る

「新たな課題・疑問への発展」… ICT で映像を見せることにより、新たな興味・疑問（課題）に発展させる

ところで、ICT を使っても伝えられないものもある。例えば「トマト」のことを教えるとき、「手触り」「におい」などは ICT では伝えることはできない。ICT は「子どもたちの理解を進めるためには、どういうことが効果的なのか」ということを考えて使う必要がある。どれも当てはまらない、「期待できる効果」が無いのであれば、使わなければ良い、という考え方も持ってほしい。

実際に授業で ICT を使うにあたっては、導入の場面で ICT を使って生徒の興味を引き出したうえで本題に入る、という使い方も考えられる。先ほど 4 つの「ねらい」や「目的」を紹介したが、そういう効果を上げられる場面で「ICT」を使えば良い。それはほんの 5 分でも良い。むしろ 5 分程度の短い時間のほうが良い、とも言われている。

「必要な時に」つまり効果のある場面で、その場面を取り上げて ICT を使う。でも、子どもたちにきちんと知識として身に付けさせたいことは黒板を使って板書をしていく。だから、学校現場ではスクリーンが真ん中には無い。スクリーンは一般的に黒板の横に斜めにかかっている。ICT を効果的な場面で使って、大事なことは従来通り板書し、ノートに書かせる。

このようにして、ICT を「何のために、どの場面で、どのように使うのか」を十分考慮して活用し、「学力向上」を目指していきたい。



(平成 25 年度視聴覚セミナー講演より要約)

平成 25 年度石川県視聴覚教育協議会の活動について

石川県視聴覚教育協議会は、本県の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的とし、県及び市町教育委員会の視聴覚教育担当部局をもって組織され、視聴覚教育に関する研究奨励及び指導者研修、学習情報の交換のための事業等を行っています。

平成 25 年度の活動内容を紹介します。

平成 25 年度総会・視聴覚セミナー

○平成 25 年度 役員一覧

会 長	村澤 勉	石川県立生涯学習センター館長	監 事	折戸 容子	かほく市	
副会長	柿本 敦子	輪島市立図書館長	"	中村 潤	白山市	
理 事	本多美千代	能美市	参 与	坂井 芳子	石川県教育委員会生涯学習課長	
"	山崎 京子	野々市市	事務局	事務局長	石野 周	生学セ・学習情報グループリーダー
"	岩上 涼一	内灘町		事務局員	山本 孝志	生学セ・学習情報グループ
"	谷 秀一郎	中能登町		"	塚本 園加	"
"	今村 昌史	石川県教育委員会生涯学習課				

平成 25 年 6 月 7 日（金）、石川県本多の森庁舎において平成 25 年度総会が開催されました。

総会では、議長に石川県教育委員会生涯学習課の 今村 昌史 氏を選出し、議案審議の結果、平成 24 年度事業・決算及び平成 25 年度事業計画・予算案が承認されました。

総会に引き続き視聴覚セミナーとして、石川県教育センターの 真館 英誉 指導主事による講演「学校教育における ICT 活用の実際」を実施しました。



情報技術活用研修会

各市町において実施される、「IT 講習」等の情報技術活用を目的とする研修会です。

平成 25 年度は、次の 3 市で実施されました。

実施主体	研 修 会 名 (内 容)	開催日(期間)	場 所	受講者数 (延べ)
金 沢 市	PC スキルアップ研修 (市立小中学校職員・市内保育園、幼稚園職員の使用するソフトの技術講習)	平成 25 年 6 月 12 日 ～7 月 13 日	金沢市教育プラザ 富樫	123 人
羽 咋 市	パソコンの疑問なんでも解決します！研修会	平成 26 年 1 月 23 日	羽咋市立 千里浜公民館	15 人
野々市市	ワード 2010 入門コース	平成 25 年 5 月 9 日 ～10 月 31 日	野々市市情報交流館 カメラア	32 人

ICT (情報技術) 活用講座

当協議会が、市町や学校・団体等の視聴覚担当者、学習担当者、公民館職員などを対象に行う講座です。

第 1 回 「初歩からのフェイスブック活用講座」

開催日：平成 25 年 8 月 29 日（木）～30 日（金）

(2 日間、午前 10 時～午後 3 時)

講 師：Office アシスタ 山川 広美 氏

会 場：石川県本多の森庁舎パソコン室

参加者：公民館、図書館、各種団体職員等 9 名

近年急速に利用者が拡大しているソーシャルメディア「フェイスブック」を広報のツールとして活用できるよう、基礎から学んでもらうことを目的に開催しました。

公民館・図書館職員のほか、保育園等の職員の方など 9 名が、開設・管理方法からニュースフィードやイベントの使い方、運用の注意点、各ソーシャルメディアの違いなどを、熱心に学んでいかれました。

受講生からは「説明がわかりやすかった」「これからぜひとも活用したい」といった声が聞かれました。



第 2 回 記念講演会の実施

日 時：平成 26 年 3 月 4 日（火）午後 1 時 30 分～2 時 45 分

会 場：石川県本多の森庁舎 2 階第 3 会議室（「いしかわビデオ作品コンクール」記念講演）

詳しくは「平成 25 年度（第 44 回）いしかわビデオ作品コンクール」の項をご覧ください。

県民映像カレッジ

広く一般県民の皆さんに、映像作品制作に興味をもってもらい、ビデオの撮影・編集の技術を学んでいただく講座です。(石川県民大学校 情報・科学コース講座)

なお、この講座は、生涯学習センタービデオクラブ（SVC）の協力のもと実施しています。

場 所：県立生涯学習センター県民大学校教室ほか

講 師：岡野 重和 氏 ほかSVC会員の皆さん

開催日：第1期…平成25年6月12日～7月6日の間の6日間

第2期…平成25年10月4日～11月12日の間の6日間

(週1回、午後1時30分～4時)

参加者：第1期…12名

第2期…8名



ビデオ撮影初心者を対象とし、映像作品制作のための基本や作品構成、パソコンによる編集技術を習得する講座です。

今年度からは、使用する編集ソフトに無償ダウンロードして使える初心者向けの「Microsoft ムービーメーカー」を加えたほか、実習を2～4名の班ごとに行い、グループ活動を通じた作品制作から分担制の効用を体験し、ビデオライフの楽しさと社会生活の中で自作映像の活用をはかることをめざしました。



受講生は、岡野講師よりカメラワークの基本や、より見やすい撮影をするための注意点を教わった後、サポートスタッフであるSVC会員の指導の下、班ごとに石川護国神社での撮影実習やパソコンを使った編集作業を行い、映像作品づくりの課題に取り組みました。

最後に、完成した作品をサポートスタッフを含めた全員で鑑賞し、講評を行いました。受講生は、講師をはじめSVC会員の皆さんから、たくさんのアドバイスを受け、充実した講座になりました。

「県民映像カレッジ」が、テレビ番組に取り上げられました

毎週土曜日の午前11時15分～11時30分に石川テレビで放送されている「ふれあい空間いしかわ」で、「県民映像カレッジ(第2期)」が取り上げられました。(平成26年1月25日放送)

なお、この放送分を含めた「ふれあい空間いしかわ」「いしかわ大百科」「げんき日記」の石川県教育委員会提供番組のDVDは、石川県立生涯学習センター視聴覚ライブラリーで貸出を行っています。ぜひご利用ください。

☆お問い合わせ先 石川県立生涯学習センター まなびすとルーム TEL 076-223-9574 FAX 076-223-9004

※「ふれあい空間いしかわ」の放送期間は、10月～3月となっています。

全国大会レポート

第17回視聴覚教育総合全国大会・第64回放送教育研究会全国大会合同大会 (旭川大会)に参加して

石川県立生涯学習センター 学習情報グループリーダー 石野 周

平成25年10月25日・26日の両日、旭川市大雪クリスタルホールにおいて第17回視聴覚教育総合全国大会・第64回放送教育研究会全国大会合同大会(旭川大会)が開催された。

1日目のテーマ別研究交流(第9分科会)では、NPO法人NEXTDAYから「NPOによる町内活動支援～情報ツールとしてのタブレット活用～」、旭川医科大学から「ICTを活用した地域住民の健康づくり支援」について報告があり、地域に根ざした市民のための生涯学習メディアの活用について協議が行われた。

2日目の団体別研究(全国視聴覚教育連盟・全国公立視聴覚センター連絡協議会)では、札幌市生涯学習センターから「視聴覚教材の製作～地域に密着した特色ある教材～」、メディアネット江別から「映像メディアによる地域の情報発信と生涯学習コンテンツの提供～市民活動 団体制作ビデオの有効活用事例～」について報告があり、生涯学習機会の充実と映像メディアサービスについて協議が行われた。

この大会を通じて、人々の協調行動が活発化することにより社会の効率性を高めることができるという考え方のもとで、地域のネットワークの重要性について再認識することができた。地域格差の解消につながるグローバル化の方向性についても知見を深めることができた。

今後の課題としては、地域学習に役立つ映像コンテンツの制作、アーカイブ、配信貸出システムなど、生涯学習のためのメディアサービスの在り方について検討をしていきたい。

平成 25 年度（第 44 回）いしかわビデオ作品コンクール

共催：石川県教育委員会
 後援：石川県小中学校視聴覚教育研究協議会
 石川県高等学校視聴覚教育研究会
 石川県社会教育協会／石川県公民館連合会
 募集期間：平成 25 年 12 月 2 日(月)から
 平成 26 年 2 月 3 日(月)まで
 募集部門：①教材部門、②一般部門の 2 部門

今年度は、①教材部門 5 点、②一般部門 12 点、計 17 点の応募がありました。

審査会は、2 月 14 日(金)午後 1 時半より、県立生涯学習センターにて行われました。3 時間を超える審査の末、右のとおり各賞が決定しました。

表彰式は、3 月 4 日(火)午後 3 時より、石川県本多の森庁舎 2 階第 3 会議室にて行われました。

約 50 名の出席者のもと、石川県視聴覚教育協議会長、石川県教育委員会、石川県社会教育協議会長、石川県公民館連合会長より、受賞者へ各賞の表彰状授与が行われました。

表彰終了後、各部門の講評並びに最優秀賞・優秀賞受賞作品の上映を行い、表彰式は終了しました。受賞された皆様、おめでとうございます。



一般部門 最優秀賞 表彰

記念講演会（第 2 回 ICT 活用講座）

表彰式に先立ち、午後 1 時 30 分より「もっと気楽に！ビデオ撮影を楽しみましょう」と題し、石川テレビ放送(株)報道制作局報道部専任部長の近堂 清司 氏を講師にお招きして記念講演会を実施しました。



投稿ビデオや、近堂さん自ら撮影されたビデオ映像を見ながらのプロカメラマンの視点からの解説は、聴衆の皆さんからは「大変参考になった」と好評でした。

審査委員

審査委員長	棒田 邦夫	金沢学院大学教授
審査委員	勝田 敏夫	メディアアドバイザー
"	今村 昌史	県教育委員会生涯学習課
"	村澤 勉	県立生涯学習センター館長

審査結果

①教材部門		
最優秀賞 (石川県教育委員会賞)	すっごーい！ 給食室の一日	小松市立国府中学校 保健委員会
優秀賞 (石川県社会教育協会賞)	勇気ある一歩	金沢市立兼六中学校 生徒会
奨励賞	金沢カレーK	石川県立工業高等学校 放送部
"	宝暦杉の物語	能登町立上町公民館
"	包丁式の儀	片岡重幸
②一般部門		
最優秀賞 (石川県教育委員会賞)	走れ 走れ なかよし鉄道	西上章
優秀賞 (石川県公民館連合会賞)	山代倶楽部の お神輿作り	小林恵子
奨励賞	空の見える窓	小林陽治
"	焼畑農業の再現	小倉健治
"	兼六園霞ヶ池の リフレッシュ	藤平田友市

☆☆☆ 審査講評 ☆☆☆

今年度の作品には、撮影アングルがよいのに音が耳障りであったり、ナレーションより音響が勝っていたり、ひとつひとつのシーンがよいにも関わらず編集の順番が不適切なために意図が伝わりにくかったりと、よいビデオに仕上がっていながら、各要素々に点差の作品が目立っていました。そんな中、教材部門、一般部門の最優秀賞、優秀賞は企画、撮影、編集、録音等のバランスがよく、ズーム、アップ、ロングシーンを的確に織り交ぜていて、見せる編集に工夫がなされていました。その映像は、わかりやすく、見やすく、社会性・教材性としても、高い評価につながったといえる。

(講評 審査委員長 金沢学院大学 棒田邦夫)

===== 石川県立生涯学習センターからのお知らせ =====

「ふるさとモット学び塾」が、インターネットで視聴できます

子どもから大人まで県民一人ひとりがふるさとへの愛着と誇りを持つために、石川の文化や歴史、自然等について知識を深めるふるさと学習の講座「ふるさとモット学び塾」。この講座の様子を収録した動画を、石川県生涯学習情報提供システム「あいあいネット」のページからご覧になることができます。「あいあいネット」にアクセスして、ぜひご視聴下さい。(一部講座の配信となります) 「あいあいネット」URL <http://inet.pref.ishikawa.jp/>

QRコード



お問い合わせ先 石川県立生涯学習センター学習情報グループ TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585